

令和6年度 いのちの授業 事例集（中学校）【技術・家庭】

地区	学年	教科等	テーマ	内 容	参考事項（講師・教材等）
1 相模原市	中3	技術・家庭	「幼児、園児とのふれあい体験活動」	ねらい：幼児、園児との関わり方についての課題を見つけ、学習した基礎的・基本的な知識を活用して、より良い関わり方を考える中で、幼児園児への理解を深める。 活動：0～1歳児、3歳児、4～5歳児とグループ分けて、体育館や視聴覚室、教室を使い、ふれあい体験を行った。幼児園児と一緒に遊ぶ中で、自分たちの生い立ちや成長を考える機会となり、いのちを大切に作る心をはぐくむことに繋げた。	近隣の幼稚園や保育園
2 横須賀市	中3	技術・家庭	幼児の生活と家族	幼い頃の振り返りで自分が生まれた時のエピソードなどを親にインタビューした。その中で、妊娠から出産までにどのような出来事があったのかや、新生児期・乳児期・幼児期にはどのような心身の発達があるのか、子どもと関わる側は衣食住生活でどのようなことに留意しなければならないのかなどを考えることができた。生命と関わる責任についてや、親から受け取った命を自分も関わって生きていきたいと考えている生徒も見られた。	新しい技術・家庭 家庭分野
3 湘南三浦	中3	技術・家庭	成長7命の授業	家庭分野（家族家庭生活）において、11月後半に1時間、幼児教育の派生内容として扱った。内容は妊娠したあとに関わる家族の動き、かかるお金の話、妊娠期間の妊婦のからだの変化、出産の具体、産後の具体に関するもの。生徒は直接知らないことばかりであるため、自身の将来も重ねて学習できた。	
4 湘南三浦	中2	技術・家庭	防災教育 「災害からいのちを守る」	地震、津波、豪雨、台風などあらゆる災害が日本では起き、いつ災害が起きるかわからない。災害別にグループで備え方、逃げ方など調べグループ発表をした。この生徒は東日本大震災を知らない世代になっているので、あの日の状況を伝える授業にした。	家庭科の授業・防災教育
5 県央	中3	技術・家庭	幼児の生活と家族	子供が育つ環境としての家族の役割について、幼児の心身の発達を支え、生活の自立に向けた生活習慣の形成を促すために、幼児にふさわしい生活を整える役割にがあることを理解できるようにするとある。その際に、愛情をもって接しとあるが、この部分で小さいいのちの大切さを伝える。いのちとは、食事だけでなく遊びの意義やよりよい関わり方も関係していることに気づかせ、そのようなことは幼児期からこそ重要かつ必要であることを理解させる。 生徒からは幼児を見たり触れたりすると「かわいい」という声も聞こえてくるが、その場だけの「かわいい」ではなく1つのいのちであり、小さいいのちを守るために自分たちに何ができるのかを考える生徒も存在した。	

6	県央	中3	技術・家庭	幼児の生活と家族 「成長を振り返ろう」	幼い頃にお世話をしてくれた人を思い出し、多くの人々に支えられてここまで成長できたことを認識させた。また、幼児の心身の特徴を学び、自分の存在がどのような経過の中で、育み、見守られてきたのかを学んだ。自分が人として生きてきたこれまでの軌跡は、かけがえのないものだということを理解させ、命の大切さを感じられるような学習を行った。	東京書籍 新しい技術・家庭 家庭分野 明治図書 技術・家庭 総合ノート 家庭分野
7	県央	中3	技術・家庭	幼児の生活と家族	3年生の2学期に自分の生まれたころ～現在までの成長と家族との関わりについて学んだ。改めて幼かった時の話を聞いたりすることを通じて、自分が多くの人との関わりの中で成長したことを実感していた。また幼児の発達を支える大人の役割を考えるテーマでは、自分が親になったことを想像して、命のリレーをつなぐ大切さについて考えた。	教科書「家庭科分野 くらしを創造する」 (教育図書)
8	県西	中3	技術・家庭	保育、家族と地域	生徒は、成長と家族や家庭生活とのかかわりや、幼児の体や心の発達について学ぶ際に、幼児期の振り返りを行った。自分の誕生を喜び、成長を見守ってくれていた家族の存在に思いを馳せ、幼いいのちについて考えを巡らせていた。それぞれが趣向を凝らしたフェルト絵本作りを通して、幼児の遊びの意義についても考えることができた。また、家族や地域の高齢者とのかかわりについても学習し、生涯にわたる生き方をイメージする時間となった。	東京書籍「新しい技術・家庭」家庭分野
9	県西	中2	技術・家庭	Tシャツが皆さんの手元に届くまで	何気なく購入しているTシャツがどのように作られて消費者の手元に届いて着用しているのか資料で確認し、互いに意見交換しながら理解を深めた。例としてインドでの綿花の栽培（マスク等を着用せずに大量の農薬を散布していること・炎天下の中で子どもたちが収穫をしていること）や製作工程（低賃金や過酷な労働状況）を学び、今後Tシャツを購入する時に自分たちがどのような行動をするのかを考えた。	資料 「ACE インド・コットン生産地の児童労働」等